

小規模多機能型居宅介護事業所

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月1日 (16:00~17:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	赤津麻記子 春田智 阿部達郎 本木孝 吉田敦 石本信子 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1	12			13

前回の改善計画	事前情報については、引き続きケアマネージャーより書面で配布してもらい、職員間での情報共有できるようにする。また、利用開始後に事前情報と違って来たことなどについては、情報の更新を随時行っていく。利用者や家族と関わりで得た情報については申し送りを行い、必要であればその都度、多職種間で検討会議を開いて対応できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	事前情報はケアマネが収集し、職員と情報共有しスムーズにケアできるよう努めている。利用開始後は多くコミュニケーションを図り状態把握をし、情報更新できるよう申し送っている。職員間の検討会議に参加できる職員が少なく書面での申し送り中心となり、不十分な面がある。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	10	2		13
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	12			13
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	9			13
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	8	4		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアマネが新規開始前、家族から利用者の状態を聞き取り、職員に情報提供している。各職員が事前情報を申し送りノートなどで収集し、利用時にスムーズにケアできるように努めている。また、新規利用者には体験利用をしてもらったり、入院中の方は面会をし、情報収集している。利用開始したらより頻りにコミュニケーションを図るようにして状態把握に努め、得た情報を申し送ったり検討をして統一されたケアができるようにしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
新規利用開始前のミーティングはケアマネ、リーダー中心に行われているが、勤務の都合で参加できない職員も多く、細かな情報や支援方法がうまく申し送りができていないことがある。適切な接し方をしているのか分からない時がある。利用者の家族背景に関する情報や利用者・家族の必要としている支援の情報が不十分と感じる。他利用者と会話できるよう配慮した席を考えるが、固定席や利用者同士の相性もあり、思い通りにいかない事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
事前情報はケアマネが収集し、職員と情報共有するため、『新規利用者情報シート』を作成していく。職員は利用開始後に把握・確認した状況などを『新規利用者情報シート』に追加記入し更新していく。職員間の検討会議に参加できる職員が少なく書面での申し送り中心となるが、夜勤者からの申し送りをノートの確認のみとせず、口頭にて行うことで共有、検討の機会を設ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月1日 (16:00~17:00)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	赤津麻記子 春田智 阿部達郎 本木孝 吉田敦 石本信子 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	3	9		13

前回の改善計画
日々の業務でケアプランやモニタリングの確認が難しいため、ケアプラン作成後に要点をまとめたファイルを作成し、申し送りと一緒に確認できるようにしていく。また、ケアプランやモニタリングについて理解が乏しい職員もいるため、定期的にケアプランについての研修などを行って行くようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者の「～したい」を実現できるようにケアをする意識を各職員がもち、情報を共有しケアに活かしている。ケアプランやモニタリングの理解を進めるための研修を行えなかったため、理解が不十分。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	7	5		13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7	5		13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	7		13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	4	8		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアプランの理解、要点作成ができています。ケアプランに目を通し希望を知るようにしている。利用者の「～したい」を会話の中で受け止め支援ケアを行う。「～したい」が実現できるよう必要なものを揃えている。日々の関わりや支援の中で情報を把握、他職員と共有し支援に反映させている。問題が起こってもその都度職員間で話し合い対応できている。利用者とのコミュニケーションで得た情報は他の職員やケアマネに伝えケアプラン作成の参考になるようにしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
大まかなプランは会議で知る事ができるが、一人一人のケアプランやモニタリングを読むことがなく、担当利用者以外のケアプランの内容の把握ができていない。ケアプランやモニタリングの研修に参加できない。「～したい」の内容によるが当日のメンバーやタイミングがうまくみ合わない。趣味やレジャーに関する情報を把握できてなく、ケアに活かしていない。利用者が支援や介助に満足されているのか分かっていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者が「～したい」や「困っている」ことに対し、職員が対応を考え実施しているが、気付いた時、実施する前に家族に連絡し共に支援・考えていくという姿勢も持つようにする。レクリエーションや趣味、壁画作成等「～したい」を実現するために他職員にも細かなことでも伝え、当日その場になかった職員にも伝えるよう申し送りをしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	赤津麻記子 春田智 阿部達郎 本木孝 吉田敦 石本信子 島崎真理子 若尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子
------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	11	1		13

前回の改善計画	利用者に合わせた支援については大体できているため、引き続き、体調の変化や気持ちなどに注意しながら支援を行っている。職員同士の情報共有やケアの統一を図るために、しっかり記録、申し送りを行うようにしていき、何か変更などがあればその都度職員間で検討会議を開いて、情報をまとめるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者に合わせた基本的な介護はできている。利用者の表情や行動から体調や気持ちの変化に気付けるよう常に観察を行い、変化に気づいた際には職員間で声を掛け合い支援している。申し送りノート等記録物が多く、重複記録の必要があり記載漏れがある。会議の参加率が低く、検討が不十分なことがある。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	9	1	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	10	1		13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		11	2		13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	11			13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	11			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
基本的な介護はできている。利用者の変化への対応など申し送り、情報共有しながらチームケアをしている。利用者の表情や行動から気持ちを推し図り、職員間で共有している。利用者がいつもと違っている様子の時、体調や気持ちの変化に気付いた際には職員間で声を掛け合い支援している。利用者が困っているような時はゆっくり話を聞くようにしている。利用者の変化に気付けるように体調を常に観察している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
情報共有は申し送りノートを活用しているが、記録が抜けていたり不十分なため、共有することが難しい。フロア会議の参加人数が少なく検討ができず、できても少人数で行っている。会議に参加できず自分の出勤時間以外の様子や自宅での様子が分からない。記録物が多く、重複して記録が必要であり、記録漏れが起るため、後から他の職員から聞くことがある。宿泊が必要な利用者に対して生活パターンの把握ができていなく、実践されない。利用者の変化に気付けていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
申し送りノート等記録物が多く、重複記録の必要があり記載漏れがある。書類の項目ごとにファイリングし、確実に読めるようにしていく。会議の参加率が低く、検討した細かな内容が、他の職員に周知されていないため、記録とともに口頭での申し送り周知もしていく。知ったことは伝え、知らなかったことは尋ねていくようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	赤津麻記子 春田智 阿部達郎 本木孝 吉田敦 石本信子 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子
---------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		9	4		13

前回の改善計画	ケアマネージャーより家族と面会などを行い、何か変更や要望などがあつた場合にはその都度申し送りを行い、情報共有を行うようにしていく。サービスを追加する場合には、利用者や家族、小規模多機能の状況を踏まえて、地域資源の活用も積極的に行っていくようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアマネ中心に家族との面談や電話等で情報把握に努め、利用者の変化について情報共有し、サービス・支援の変更についてもスムーズに対応できている。地域との関係をケアマネと情報共有し関係が継続できるよう配慮している。地域の社会資源の把握ができていない、活用できていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	9	3		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6	7		13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	10		13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	9	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
家族との電話や面会時に積極的に話をし把握に努めている。利用者や家族とコミュニケーションを図り自宅での生活を知り、それに沿った支援、介助をしている。地域との関係をケアマネと情報共有し、その関係が継続できるよう配慮している。利用者の変化についてケアマネと情報共有しサービス・支援の変更を申し送り、スムーズに対応できている。さわやか収集や宅食を利用している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者の自宅での様子や地域の社会資源の把握、活用ができていない。家族の要望を聞く等情報収集することが少なくなった。地域との関わりが少ない。利用者や家族の関係が良好であるかの把握ができていない。自宅での生活が難しくQOLが低下している利用者がある。訪問の時間が少なく自宅での生活支援に限界がある。	

shakai

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ケアマネ中心に家族との面談や電話等で情報把握に努め、利用者の変化について情報共有し、サービス・支援の変更についてもスムーズに対応ができていたため、今後も継続していく。事業所が知りうる地域の社会資源(老人会、オレンジプラスカフェ、喫茶店等)について家族に情報提供していくように努める。ケアマネより訪問の時間には制限があるため、事業所のみでは支えきれない点を家族に伝えていったり、次のステップに向けた話をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	赤津麻記子 春田智 阿部達郎 本木孝 吉田敦 石本信子 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子
----------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4	7	2		13

前回の改善計画	小規模多機能の特性を活かした柔軟な支援については出来ているため、利用者に合わせた対応を継続していく。何か支援の追加や変更したい時には、その都度検討会議を開くようにして、各職員で意見を出し合い、ニーズに合っているのかや内容ややり方が適切かなど検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	小規模多機能の特性を活かし、利用者や家族のニーズに合わせて適時適切なサービスの提供が行われている。家族が対応する事、事業所が対応すべき事の線引きがあいまいで、事業所が頼られ、家族に対応依頼ができていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	5	6		13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	7	2		13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	10			13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	9	1		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者や家族のニーズに合わせて前向きな検討がされ、適時適切なサービスの提供ができている。利用者の変化を随時把握、情報共有し、その都度対応方法を検討できている。地域包括との情報共有や医療系サービスを組み合わせることを検討し実施できている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者や家族が満足したサービスの提供はできていない。利用者の希望の合わせたサービスが提供できなく、時には利用者を怒らせてしまう事がある。利用者や家族の気持ちの変化に気付いていない。家族が対応する事、事業所が対応すべき事の線引きがあいまいで、事業所が頼られ、家族に対応依頼ができていない。会議の出席者がほぼ同じで意見交換が申し送りのみになっている。地域の社会資源を把握し活用していくことができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者や家族のニーズに合わせて前向きな検討がされ、ケースバイケースでサービスの提供ができているため、継続していく。時間制限のある訪問サービスでもでき得る在宅生活の支援をしていく。ケアプランにおいて援助の方針を明確にし職員に周知する。職員はそれに沿って支援や介助をし、フィードバックしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

6. 連携・協働	メンバー	赤津麻記子 春田智 阿部達郎 本木孝 吉田敦 石本信子 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子
----------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2	7	3	1	13

前回の改善計画	オレンジプラスカフェは、月1回に変更になったが、時間も好評のため継続し、楽しんでもらえるように配慮していく。コロナ禍のため外部ボランティアは難しいが、職員主体のレクリエーションや公園などへの外出は行えるため、積極的に行っていく。
---------	--

前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナの感染対策の緩和により外出や他事業所、地域との交流が行えるようになってきた。事業所としての行事レク、施設全体の夏祭り等のイベントが実施できた。地域の方やボランティアとの交流できるような取り組みができてなく、外出機会もまだ少ない。
------------------	---

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1		2	10	13
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	1		11	13
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		1	1	11	13
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2	2	9	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新型コロナの感染対策の緩和により地域のイベントに参加できる環境となってきた。夏祭りが再開でき、オレンジプラスカフェや行事レクリエーションなども継続実施できている。バーベキューやレクでGHや特養と交流することができた。職員主体のレクはアイデアを出しながら行っており、集団レクや植物園への外出を通し利用者に楽しんでもらえるよう努めている。入居希望者にはGHや特養へスムーズに移動できるよう情報提供に努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
新型コロナの感染対策が緩和されたもののボランティアとの交流や外出の頻度は少なく、地域のイベントに参加するまでには至っていない。夏祭りの来訪者とのコミュニケーションが取れなかった。オレンジプラスカフェに地域の方が参加できるような取り組みができていない。他のサービス機関や自治体、地域包括との会議の参加はケアマネに一任されている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新型コロナの感染対策の緩和により事業所としての行事レクリエーション、GHや特養との交流、施設全体の夏祭り等のイベントが実施できたため今後も継続実施していく。さらに植物園への外出やドライブ、少人数で個別外出、音楽レクリエーションなどを通し利用者に楽しんでもらえるよう努めていく。外部ボランティアや学生など事業所に足を運んでいただけた際には利用者と交流が持てるよう配慮していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

7. 運営	メンバー	赤津麻記子 春田智 阿部達 本木孝 吉田教 石本信子 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子
-------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	7	3		13

前回の改善計画	役職などに関係なく意見交換ができる環境であるため、その環境を引き続き継続していく。職員間での意見の違いについては、リーダーへ報告してもらい、それぞれの職員の意見を確認して、まとめていけるようにしていく。地域との協働に関しては、電話での繋がりなどで今の関係を維持していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	リーダーやケアマネ、職員間で率直に意見を出し合える環境が継続されている。利用者や家族、地域の要望・苦情を聞き取った際には申し送りをし、実現できるように検討、支援している。日常的な地域との関わり・交流が少なく、連携が取れているとは言えず、つながりは希薄なため、運営に反映できていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	2	6	5		13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	11	1		13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		7	5	1	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1	11	1	13

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
リーダーやケアマネ、職員間で率直に意見を出し合える環境にある。職員間で意見・考えが違っても自分の意見を言い、他者の意見も聞き受け入れて、より良い方向に向くように努めている。利用者家族の要望を聞き取った際には申し送りをし、実現できるように検討、支援している。家族や地域からの苦情は真摯に受け止めている。夏祭りは多くのボランティアが参加されよい取組みとなった。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
地域の拠点であるための協働した取組みはできていない。日常的な地域との関わり・交流が少なく、連携が取れているとは言えず、つながりは希薄。地域住民の直接的で率直な意見を聞く機会がなく、どのような意見があるか分からない。家族の意見を運営に反映させることができない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
リーダーやケアマネ、職員間で率直に意見を出し合える環境が今後も継続されるよう努める。利用者や家族、地域の要望・苦情を聞き取った際には申し送りをし、実現できるように検討、支援ができているため、継続して行っていく。どんぐり夏祭りやハナモモ祭りのイベントには事業所としても積極的に参加し、地域とのつながりを持っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	赤津麻記子 春田智 阿部達郎 本木孝 吉田敦 石本信子 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子
-----------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか?	1	1	10	1	13

前回の改善計画	外部研修も少しずつ増えてきたため、各職員にどんな研修に行きたいか確認をして、行けるように配慮していく。また、委員会の研修は各委員が出ていたが、委員以外の職員が勉強したい場合は参加できるようにしていく。リスクマネジメントについては、フロア会議などで定期的に研修を開いていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	施設内の委員会が開催されており、各委員会内で研修が実施され委員は参加できている。外部の研修は勤務の調整ができず参加できていない。研修に参加できても事業所に持ち帰りその内容を周知共有することができていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	3	4	5	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	2	8	13
③	地域連絡会に参加していますか	1		3	9	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	5	4	3	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
施設内の委員会に参加できており、各委員会内で研修が実施されている。ノロ感染予防においては全職員が研修に参加できるよう各事業所に持ち帰り再研修を行えた。外部の研修については職員ごとに合った研修に参加できるよう調整している。利用者の転倒などのリスクを回避できるよう職員間で申し送りしたり声を掛け合い、会議においても検討している。事故が起こった場合には職員間で対策を話し合っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
内部研修は委員以外、外部研修は勤務の調整ができず参加できていない。研修に参加できても事業所に持ち帰りその内容を周知共有することができていない。地域の連絡会にも参加できていない。勤務の休日にはフロア会議に参加できていない。スキルアップ研修に参加できていない。自ら率先して参加したい研修の要望を出していない。事業所の外からの最新の知識の導入ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
事業所全職員に年間1回ずつ外部研修に参加できるよう勤務調整を行う。施設より提示されている外部研修ファイルを職員自ら閲覧し参加希望を募り、関心のある研修に参加できるようにしていく。施設内委員会の研修は委員が参加できているため今後も参加できるように努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	赤津麻記子 春田智 阿部達郎 本木孝 吉田敦 石本信子 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子
--------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	6	3		13

前回の改善計画	身体拘束、虐待、プライバシーの保護などについては、フロア会議などで定期的に勉強していく。個人情報の管理やファイルの整理などは、随時整理整頓を行うように心がけていき、ファイルの分別など分かりやすいように整えていく。
---------	--

前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束、虐待、プライバシーについて意識を持って業務にあたり、身体拘束や虐待に当たる行為にならないよう職員間で話し合い、身体拘束、虐待は行われていない。書類やファイルの使いやすさについては改善が必要。書類やファイルがあるべき場所から移動していたり、利用者の目に触れる場所に置きっぱなしになっていたり管理できてない。
------------------	---

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11	2			13
②	虐待は行われていない	13				13
③	プライバシーが守られている	5	8			13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	3	3	5	13
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3	8	2		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束、虐待、プライバシーについて意識を持って業務にあたっており、身体拘束、虐待は行われていない。身体拘束や虐待に当たる行為にならないよう職員間で話し合っている。入浴、排泄の介助はプライバシーに気を付け同性介助できるように努めている。利用者を傷つけるような言葉使いはしないよう気を付けている。個人情報の管理においては職場環境を整え、整理整頓をしている。徘徊や転倒リスクのある利用者にはその行動に寄り添っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
フロア会議において勉強会ができていない。スピーチロックしている可能性がある。書類やファイルの整理はほぼ良いが、使いやすさについては改善が必要。多くの職員が扱う書類やファイルが移動しており、使ったら戻すができていない。利用者の目に触れる場所にファイルを置きっぱなしにしている。プライバシー遵守がされていない職員に対し注意ができない。成年後見制度について対象者が現在いなく勉強不足。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
身体拘束、虐待、プライバシーについて意識を持って業務にあたっており、身体拘束、虐待は行われていないため、今後も継続していく。多くの職員が扱う書類やファイルが移動しており、使ったら戻すができていないため、事業所内を今一度整理整頓、不要なものの片づけを行い、書類の置き場所を確保し使用後に戻しやすい環境にしていく。	